

航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

コミュニケーション不足



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えるとコミュニケーション不足が目立つ傾向があります。



私たち（作業員、技術者、マネージャー）一人ひとりが

より効率的なコミュニケーションをはかるよう心がける必要があります。

どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ 完了した作業とそうでない作業について口頭または書面で明確かつ詳細に伝えましょう。
- ✓ メッセージが相手に伝わったか確認しましょう。
- ✓ 作業が終わったと思いついてはいけません。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

プレッシャー



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、プレッシャーが高まる傾向があります。



コロナ禍による感染予防対策を実施する中で、納期に間に合わせなければ、というプレッシャーがさらに高まっている可能性があります。

どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ 自分自身にプレッシャーをかけないようにしましょう。
- ✓ もう少し時間が必要だと思える場合にはそう伝えましょう。
- ✓ 時間がない場合は、他の人に助けを求めましょう。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

注意力の欠如



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、注意力の欠如が顕著になる傾向があります。



この前代未聞の状況下で、私たちの日常生活の中にはさらに注意力が阻害される要素が増えています。作業に集中できないと、私たちは実際よりも先のプロセスに進んでいると思い込む場合があります。



どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ 集中できる状態になったら、すでに完了したステップを見直し、自分がどの段階で作業をしていたか確認します。
- ✓ 操作を中断する場合は、どこで中断したか正確にメモを取るようにしましょう。
- ✓ 集中力を阻害する要因を最小限に抑えるよう作業スペースを整理しましょう。（携帯電話の電源を切るなど）

航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

知識の欠如



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、知識の欠如の影響が大きくなる傾向があります。



今日の急速に変化するハイテク環境にあっては、作業を遂行するために必要な知識のレベルを維持していく必要があります。一方、トレーニング等が延期されている現状では知識のレベルを維持するのが一層困難になっています。



どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ トレーニングを受け、資格を取得しない限り、部品を修理するのはやめましょう。
- ✓ 機器の設置や部品の修理をどのように行えばよいかわからない場合は周囲に助けを求めましょう。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

チームワークの欠如



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、チームワークの欠如が目立つ傾向があります。



コロナ禍による感染予防対策を実施する中で、チームワークの欠如は製造作業や点検保守における安全性へのリスクを一層高めます。

どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ 作業ミスが発生しないように、複数人で手分けして行うべき作業について話し合みましょう。
- ✓ チームのメンバーの間で均等に作業を割り振りましょう。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

リソース不足



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、リソース不足が顕著となる傾向があります。



私たちは現在、コロナ禍前に比べ業務を遂行するのに必要なリソース（人材、資材）が不足するリスクに直面しています。私たちのサプライヤーも同様の問題に直面していると考えられます。



どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ リソースが不足した場合は、遠慮なく作業を延期してください。
- ✓ 作業を終わらせるために、足りない部品を互換性のない部品で補うようなことは絶対にしないでください。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

自信過剰



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、自信過剰が悪影響を及ぼす傾向があります。



作業手順を完全に習得すると、自信過剰となる事があります。コロナ禍により予防対策がいつもより手薄になっている可能性があります。



どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ 簡単な作業でも、常に自身の行った作業を確認しましょう。
- ✓ 異常がないか常に注意を払うようにしてください。
- ✓ 十分確認するまでは、絶対に確認サインをしないでください。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

疲労



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、疲労も増大する傾向があります。



現在、今まで以上に疲労が問題となっています。疲労によって注意力や警戒心が低下しますが、これは航空業界での作業において非常に危険です。

どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ 自分自身や同僚の疲労の兆候に気を配りましょう。
- ✓ 疲れているという自覚がある時は、複雑な作業に十分注意を払いましょう。周囲に助けを求めましょう。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

自己主張の欠如



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、自己主張の欠如が影響する傾向があります。



感染予防対策によりコミュニケーションが困難となり、自己主張の欠如による問題が起こりやすくなっています。何かが見えなくても声を上げるのをためらってしまう可能性があります。

どのような対策をとればよいでしょうか？

- ✓ 何か危険なものを目にしたら、遠慮せず知らせてください。
- ✓ 同僚に意見を求め、建設的な意見は積極的に受け入れましょう。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

ストレス



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、ストレスも増大する傾向があります。



コロナ感染者数や企業の従業員解雇など、メディアが伝える情報によって人々のストレスが高まる可能性があります。

どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ ストレスを感じたら、そのことを同僚に伝え、あなたの作業を見てもらいましょう。同僚に気を配るようにしてください。
- ✓ バランスの取れた食事、運動、十分な休息を取ることでストレスを低減することができます。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

状況認識の欠如



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、状況認識の欠如に陥る傾向があります。



通常時でも、繰り返しの作業をしていると認識力や警戒心が低下する傾向があります。コロナ禍の状況においては、この傾向はさらに強まります。

どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ 慣れた作業であっても、誰かにあなたの行った作業を確認してもらうようにしてください。
- ✓ あなたの仕事が基準に反していないか、確認してください。



航空安全: Dirty Dozen

航空関連事故やトラブルの背後にある最も一般的な12のヒューマンエラーを指します

悪い習慣



コロナ禍の状況下においては、「ダーティー・ダズン」として知られる12のヒューマンファクターが増幅される可能性があります。そのため、これらの要因に対していつもよりしっかりと注意を向ける必要があります。



作業量が増えると、日々の作業における悪い習慣の影響が大きくなる傾向があります。



いつでもどこにでも、私たちの大多数が従い許容している不文律があります。こうした悪習は、定められた品質・安全基準を損なう可能性があります。



どのような対策をとればよいのでしょうか？

- ✓ 問題ないように見えるからといって。
- ✓ それが必ずしも正しいわけではありません。
- ✓ 周囲の人と同じようにするということが正しいとは限りません。

